

学友会

学友会の活動について

「学友会」は学生の課外活動組織で、学友会長(学長)の下、「体育局」「文化局」「大学祭実行委員会」から構成され、学生により運営されています。体育局、文化局では、各局所属のクラブ・同好会から選出された学生が局長・次長・局員となり、クラブ間の調整や取りまとめ、またイベントの企画や実施を行い、大学祭実行委員会では委員長・副委員長の他、会計や広報など機能別の役割担当が置かれ、学生による大学祭の企画・運営が行われています。

学友会組織をまとめ、運営方針の策定や調整をはかるために「学友会運営委員会」が置かれています。この委員会は、体育局長・次長、文化局長・次長、大学祭実行委員長・副委員長、各学部学生部の教員から構成され、学生が議長となり、主にクラブ・同好会の新設・改廃・昇降格や学友会予算の運用・執行について協議しています。また、各クラブの戦績報告や、大学祭の企画の精査および実施報告、学友会施設について等、学生の課外活動に係る事項について総合的に議題に取り上げられています。学友会はSCPと共に学生の代表とも言える組織です。学友会所属団体のみなさんと、学生生活をより良く過ごすための意見や要望がありましたら、各局長や委員長までお寄せください。

■学友会年間行事予定

4月	新入生オリエンテーションにて クラブ紹介(体育局・文化局)
5月	
6月	九十九祭(大学祭実行委員会)
7月	北海道地区大学体育大会(体育局所属クラブ参加)
8月	全日本歯科学生総合体育大会 (体育局所属クラブ参加)
9月	
10月	
11月	文化週間(文化局) 球技大会(大学祭実行委員会)
12月	
1月	
2月	
3月	

体育局

体育局を振り返って

体育局長 平田 倫也(看護福祉学部 臨床福祉学科3年)



学友会の体育局長に自ら志願した日から、早いものでもう1年間が経ちました。こうして、無事に任期を終えられた事にホッとしております。

この1年間を思い出してみれば、色々な事がありました。例えば、体育館の割り当ての決め方が変わり、体育局の仕事が増えました。そのおかげでアルバイトを辞める事になり、学業に専念する事が出来るようになりました。

冗談はさておき。私から最後に体育局所属の皆さんにお伝えしたい事はズバリ「クラブ数の減少」です。学部が増えた事による生徒数の増加とは裏腹に、クラブ数は減少の一途をたどっています。その影響で、例年よりも多くの新入生がクラブに入部してきて、練習場所に困ってきた団体が出てきました。そういう時は一度、ぜひ体育局、学生支援課に相談して下さい。皆さんの活動がより良いものになるように体育局はこれからも部活動に入って活躍する皆さんを応援します！1年間、ありがとうございました。

文化局

文化局を振り返って

文化局長 倉本 圭輔(看護福祉学部 看護学科3年)



文化局の仕事として、月に1度定例会を開催しており、その定例会を通じて各団体の活動が円滑に行えるよう運営しています。また、11月には文化週間という各団体がそれぞれの発表を行う場を設けており、その企画や運営を行っています。他にも予算面談や決算面談など、各団体がより良く活動ができるよう私たちが支援しています。

今年度は世代交代という意味でも、定例会の開催や運営、文化週間での様々な運営などを文化局委員が行っていました。多くの団体が活動しやすいようにサポートをするというのは、とても大変なことだったかと思いますが、それを的確に行っていた様子であったと見受けられ、心強く感じています。このように定例会や文化週間等の行事の運営などが上手に進んだのも、各団体のみなさんの理解と協力があったことによるものであると思います。各団体のみなさんは毎年のことながら協力的であるため、大変助かっております。みなさんありがとうございます。

そして、全ての開催や運営に関してのアドバイスなど様々な面でサポートしていただいた学生支援課の方々、大変お世話になり、本当にありがとうございました。これからも文化局はみなさんの活動をより良く行えるよう、サポートさせていただきますので、よろしくお願い致します。

大学祭実行委員会

九十九祭を振り返って

大学祭実行委員会委員長
菅原 美樹(看護福祉学部 看護学科3年)



今年で36回を迎えた大学祭「九十九祭」は、多くの皆様のご協力により、無事に終了することができました。まずはこの場をお借りし、感謝を申し上げます。九十九祭にご協力いただいた学生、教職員の皆様をはじめ、関係企業の皆様、ご協賛いただいた企業様、九十九

祭にご来場いただいたお客様、本当にありがとうございました。

この数年で私たち実行委員会は、企画・運営、内容の定着、学外企業・団体との交流など、組織として成長することができました。そんな中、今年の大学祭では多くの新企画を取り入れ、ご来場いただくお客様一人ひとりに楽しんでもらえるよう、工夫を凝らしながら企画・運営を行ってきました。これまでの私たちは、前夜祭の開催及び花火の打ち上げ、屋外でのステージ発表、雨天時の対応など、実行委員会としての真価が問われるテーマに取り組み続けてまいりました。これらにはまだ

改善の必要があるものの、今回の大学祭ではある程度の成果が得ることができたと思います。

しかしその一方で、これまで行ってきただことの限界や改善すべき点が感じられる大学祭でもありました。その改善点を、次年度の大学祭では改善することができるように努めていきたいと考えています。

現在、実行委員会では、次回の大学祭に向け準備を進めております。関係者の皆様には、変わらぬご支援・ご協力をお願いいたく思います。これからも私たち実行委員会と九十九祭をよりよくお願いいたします。

文化週間

「文化週間を振り返って」

文化局執行部
秋山 隼人(歯学部2年)

文化週間とは、文化局に所属している部活やサークルが展示発表や演奏会、日頃行っている活動の公開などを通して、学生や教職員など大勢の方々にそれぞれの団体が持っている活動内容を知っていただくために、毎年開催している企画です。今年は11月4日(火)～11月7日(金)にかけて開催しました。

弦楽部や吹奏楽団による演奏会、ダンス同好会によるダンスイベント、美術部や写真部の展示会などそれぞれの団体の個性を生かして様々な発表を行い、今年度も昨年度以上に盛り上がりました。文化局に所属している団体の多くは、皆さんに活動を披露する場が少ないので、文化週間などを通して興味を持っていただけたら幸いです。

最後になりましたが、文化週間に参加、協力してくださった皆様、本当にありがとうございました。



球技大会

「白熱の5日間」

大学祭実行委員会
若松 来夢(リハビリテーション学部 作業療法学科1年)

今年の秋季大会は11月10日(月)～11月14日(金)の5日間開催されました。当別キャンパス・札幌あいの里キャンパス、両キャンパスから参加があり大変白熱した試合が行われました。

バスケットボール大会では、シュートが決まるたびに歓声があがり、観客を魅了していました。

バレーボール大会は、ボールを繋ぐ姿から、チームの強い結束力が伝わってきました。

フットサル大会においては、最後の1秒までボールを追い続ける姿から、決して諦めない気持ちがひしひしと伝わり、PK戦に臨む選手の顔立ちはとても緊張感のあるものでした。

参加選手、観客、ご協力いただいた皆さま、本当にありがとうございました。

